

2010年7月8日

報道関係各位

中部学院大学

中部学院大学短期大学部

本学と岐阜農林高校、大垣養老高校、加茂農林高校、恵那農業高校

高大連携 県内4農業関係高等学校と調印式

中部学院大学（学長 岡本 健）並びに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、岐阜農林高校（校長 高畑 清樹）、大垣養老高校（校長 後藤 稔治）、加茂農林高校（校長 大野 良輔）、恵那農業高校（校長 平岡 雅憲）と高大連携を推進することになり、7月14日に協定書調印式を行います。今回の高大連携の主な目的は、共同して地域・社会に貢献する有為な人材育成を目指すことや、生涯における学習への意欲や知的好奇心を高め、適切な進路選択、職業選択を行うことができるように支援することなどです。大きな特徴としては、大学側は福祉や介護、幼児教育などを学ぶ学生が、農業高校の農場で草花や野菜作りなどを体験することで、介護施設や幼稚園などの現場で、その経験を役立てることができ、高校側は福祉や介護、幼児教育などの専門分野の知識や技術の学習により、進路選択や職業選択の幅を広げることなどが期待されます。

（趣旨、交流テーマに関する詳細は2ページにて記載しています）。

記

【高大連携協定書調印式】

- 日時 2010年7月14日（水）午後1時30分～同3時
- 場所 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 関キャンパス 大会議室
（関市桐ヶ丘二丁目1番地 0575-24-2211）
- 出席者 中部学院大学 岡本 健 学長
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長
中部学院大学地域連携推進センター
小川 克正 センター長
岐阜農林高等学校 高畑 清樹 校長
大垣養老高等学校 後藤 稔治 校長
加茂農林高等学校 大野 良輔 校長
恵那農業高等学校 平岡 雅憲 校長 (順不同)

1 「趣 旨」

- (1) 未来を担う若者たちの育成にあたり、高等学校と大学が長期的な展望に立って連携協力をを行い、共同して、地域・社会に貢献する有為な人材を育成する。
- (2) 高校生が大学での学びに触れることにより、学習意欲や知的好奇心を高めるとともに、適切な進路選択、職業選択を行うことができるよう支援する。
- (3) 高等学校と大学との相互交流により、後期中等教育としての高等学校教育と、高等教育としての大学教育の相互の活性化に資する。
- (4) 大学入学前教育、リメディアル教育の在り方を検討するなど、高等学校教育と大学教育の円滑な接続を図る。

2 「交流テーマ」

- (1) 大学の講義への高等学校生徒聴講生の受け入れ（高大連携講座など）
- (2) 高等学校の学習活動や特別活動などの諸活動に対する大学の資源提供・支援・交流（出前講座などの講師派遣、教室等施設・備品の提供など）
- (3) 高等学校の生徒及びその保護者向け講座の開設・開講（講師派遣など）
- (4) 教育に関する諸問題についての情報交換と教職員の交流
- (5) その他双方にとっての有益な事業の実施

3 「農業高校と本学の高大連携の意義」

- (1) 生命体の育成を中心に心豊かな人づくり教育をしている農業高校の学習と福祉、介護や幼児教育などを行う本学の教育の教育理念とは共通点が多い。
- (2) 農業教育で身につけた知識・技術と豊かな人間性に加え、本学の福祉、介護や幼児教育の専門的知識・技術の学習により、進路選択・職業選択の幅を広げ、社会に貢献する人づくりに繋げる。
- (3) 農業高校と大学のもつ資源の交流を図る。（大学からは、福祉・介護・教育等のスペシャリストによる出前講座、大学での体験講座等の提供。高校からは、農業や環境に関する農業高校の教育資源の提供）

※1 これまでに本学が調印している高大連携校（順不同）

関高校、関有知高校、東濃実業高校、岐阜各務野高校、郡上高校、岐阜総合学園高校、山県高校、関商工高校、土岐紅陵高校、大垣桜高校、長良特別支援学校（以上公立校）
済美高校（私立校）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 高大連携推進委員会（担当：学生部長 安藤） TEL:0575-24-2214（関キャンパス内）